

うめだより

院内広報誌

Vol.16

2020.10



横浜東邦病院

医療法人社団 嘉明会

院内広報誌 うめだより Vol.16

発行責任者：院長 梅田 嘉明

〒233-0008 横浜市港南区最戸1-3-16

TEL : 045-741-2511 FAX : 045-714-2520

URL : <http://www.yokohama-toho.jp/>

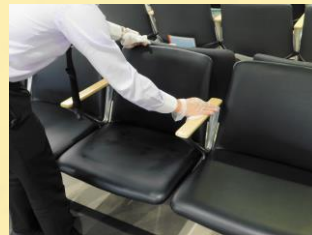
E-mail : info@yokohama-toho-group.org

With コロナ

当院では、感染拡大防止のため、下記の取り組みを病院一丸となって引き続き取り組んでおります。



来院者全員にマスク着用・問診サーモグラフィ・体温計使用の検温を行い、病院内の感染防止を徹底しております。



毎朝・昼・夕の他、随時、ドアノブ、イス、手すり、ボタン、カウンターなどアルコールにて清拭しております。



受付や診察室に、飛沫感染予防として透明のビニールシートを設置しております。



診療前・診療後に加え、適宜窓を開け、空気の入れ換えを行っております。



オンライン面会のご案内

コロナ禍の現在、当院では入院患者様への面会を禁止しておりますが、テレビ電話によるオンライン面会を毎週金曜日の14時から15時まで行う予定です。開始日が決まり次第、別途お知らせいたしますので、この機会にぜひご利用ください。



	3F 一般病棟	4F 回復期リハビリテーション病棟
毎週 金曜日	1組目 14:00~14:15 2組目 14:15~14:30	3組目 14:30~14:45 4組目 14:45~15:00

室長から一言

検査室 伊藤 好江

いつも検査にご協力頂き、ありがとうございます。検査員一同、毎日色々なアイデアを出しあい、患者様が気軽に訪れることが出来る検査室づくりをしています。私達自慢の検査室へぜひお立ち寄りください。

薬剤部 白鳥 信子

病院内にある薬局では、主に入院患者様を対象に調剤やお薬の説明を行っています。外来受診をされる患者様もお薬について疑問点などあれば、お気軽にお問い合わせください。

放射線科 伊藤 大輔

私達6人の集まりですが、チームワークだけはピカイチです。凡事徹底、これからも長い伸びしろを少しずつでも縮めていけるよう研鑽を積んでいきます。

リハビリ科 新沼 友美

今年度から新人が6人入り、活気のあるリハビリ室となりました。コロナ禍ですが、感染対策に力を入れ、明るく、一生懸命なりハビリを提供させていただきます。

院内TOPICS

横浜東邦病院が皆様にお伝えしたい
最新のトピックスをご紹介します。



新しい事務長が着任しました



事務局長

池田 幸一

私は岐阜県生まれの54歳、
うま年のA型の牡牛座です。
この度、ご縁がありまして、

松井前事務長さんの後任として赴任いたしました。
趣味は仕事と音楽と読書です。音楽はクラシック
からヘビーメタルまで何でも聞きます。単身で赴
任しますが実家には妻と娘と母とネコ(♀)の
アマゾネスに男1人肩身が狭く生きております。
皆さんどうぞよろしくお願ひいたします。

ユニフォームが変わりました

2016年のリニューアル開院以来5年ぶりに、
看護師、看護助手、リハビリ科のユニフォームが
新しくなりました。



すこやか幹部会議

当院の関連施設である介護老人保健施設すこやか
にて、3ヶ月に一度、梅田院長先生を交えた幹部
会議を開催しております。



新入職員のご紹介



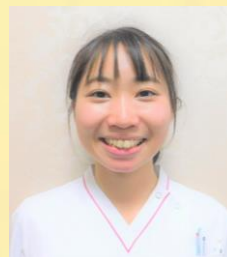
薬剤部 渡邊 香

今年4月から薬剤部で勤務して
おります。入院患者様の薬剤管
理だけでなく、退院後など自
宅での薬の管理にも介入して行
けたらと思っています。



看護師 梅谷 理沙

手術、治療を受ける患者様の苦
痛や不安の軽減に努め、患者様
を笑顔にできるように寄り添う看
護を提供していきたいです。



看護師 小林 楓

4月より脳外科も新たに受け入れ、
回復期病棟には、整形疾患や脳外
科の様々な患者様の処置観察を行
えます。今後とも、さらなる技術
向上を目指し日々努力していきたく
と思います。



看護助手 金沢 未来

患者様一人ひとりに思いやりの
心を持って業務に励んでいきたく
と思っています。よろしくお
願ひします。

9月1日は防災の日

港南区では大規模災害発生時に、診療を受けられる
病院・診療所等はその目印として「診療中」を表す赤、
又は黄色ののぼり旗を掲げます。覚えておきましょう。



ドクターズコラム

～患者さんの背景まで診る～



眼科

加藤 明世医師

この言葉は、生前父が医師の道を歩み始めた私にくれた、唯一のアドバイスである。三人姉妹の末っ子である私は幼い頃から父の診療所に遊びに行き、昼休みにはカバン持ちとして往診にもついて行った。今でも思い出す、父の小さな診療所に所狭しと父の到着を待ちわびる患者さんに、声を掛けながら診察室に向かう父の姿を見るのが嬉しかったのだ。

父の人気の秘密はカルテの中にあった。父のカルテは患者さんの身体の情報だけでなく、その家族にまつわる情報まで書き留めてあった。患者さんと情報を共有することで距離が縮まり、更に情報を引き出すことで体の変化を敏感に察知することができるということなのである。

「先生に元気をもらいに来ました」「先生に会うと元気になる」父のアドバイスのお陰で最近そんな言葉を頂ける事を、何よりも嬉しく感じる。

「人間の情報の8割は視覚から」と言われるように、健康な目は生活を豊かにしてくれる。これからも患者さんに「明るい世の中」を見ていただけるように、患者さんに寄り添って医療に努めていきたい。

医事部だより

医事部 上席次長 相澤 憲治

秋は栗、梨、ブドウなどおいしいものが実ります。食欲が出る季節ですね。一向にコロナが終息しませんが、運動不足、生活習慣病、体重や腹囲が気になりませんか？今年の特健診は再開されています。寒くなり免疫力が落ちる前にお勧めします。

医事部 主任 佐藤 利枝

65歳以上の方を対象に10月1日からインフルエンザの予防接種を開始させて頂いております。予想を遥かに超える人数が来院され、患者様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、今後の受付については、ホームページで最新の情報をご確認頂きご来院くださいますようお願いいたします。

健診結果にこんなコメントありませんか？

要再検

要精査

要医療

先生から結果を
聞きましょう

要再検とは…

体に異常がなくても、先生から詳しく説明してもらって、もう一度検査を受けましょう。

要精査とは…

なにか病気が隠れている可能性が疑われます。確認のために受診しましょう。

要医療とは…

定期的な通院・治療が必要とも思われます。必ず受診しましょう。



健康診断は病気の早期発見が目的です。受けるだけで安心せず、受診しましょう！！